

サポート情報記事

---

# モダン SharePoint Online の RSS: 組み込みの Web パーツがない理由と代わりに使えるもの



# 免責事項

本免責事項の適用上、次のとおり定義します。

- **会社** (本免責事項では「当社」と表記します) とは、**Vitextra SIA (Matīsa iela 61-25, Rīga, LV-1009, Latvia)** を指します。
- **本ドキュメント**とは、ナレッジベースの記事を指します。
- **お客様**とは、本ドキュメントにアクセスする個人、または該当する場合は、その個人が本ドキュメントにアクセスまたは使用する際に代理となっている会社その他の法人を指します。
- **本 Web サイト**とは、<https://vitextra.com> からアクセスできる **Vitextra** を指します。

## 免責事項

本ドキュメントに記載されている情報は、一般的な情報提供のみを目的としています。

当社は、本ドキュメントの内容における誤りや脱漏について、一切責任を負いません。

いかなる場合も、契約上の訴訟、過失、その他の不法行為上の訴訟であるかを問わず、本ドキュメントの内容の使用に起因または関連して生じる、特別損害、直接損害、間接損害、結果的損害、付随的損害、またはその他一切の損害について、当社は責任を負いません。当社は、事前の通知なく、いつでも本ドキュメントの内容に追加、削除、または変更を行う権利を留保します。

## 誤りおよび脱漏に関する免責事項

本ドキュメントに記載されている情報は、関心のある事項に関する一般的な指針を示すことのみを目的としています。そのため、本ドキュメントの内容を最新かつ正確に保つために当社があらゆる予防措置を講じている場合でも、誤りが生じる可能性があります。また、法律、規則、規制は変化するため、本ドキュメントに記載されている情報に遅れ、脱漏、または不正確な点が含まれる場合があります。

当社は、誤りや脱漏、またはこの情報の使用によって得られた結果について、責任を負いません。

## フェアユースに関する免責事項

当社は、著作権者から明示的な許可を得ていない著作物を使用する場合があります。当社は、批評、論評、ニュース報道、教育、学術研究、または調査の目的で、そのような資料を提供しています。

当社は、これが、米国著作権法第 107 条に規定されている、当該著作物の「フェアユース」にあたると考えています。

お客様が、フェアユースの範囲を超えて、ご自身の目的で本ドキュメントの著作物を使用することを希望される場合は、著作権者から許可を得る必要があります。

## 「自己責任での使用」に関する免責事項

本ドキュメントのすべての情報は、完全性、正確性、適時性、またはこの情報の使用によって得られる結果について何ら保証することなく、また、性能、商品性、特定目的への適合性に関する保証を含むがこれらに限定されない、明示または黙示を問わずいかなる種類の保証もなく、「現状のまま」提供されます。

当社は、本ドキュメントに記載されている情報に依拠して行われた判断や措置、または結果的損害、特別損害、もしくはこれらに類する損害について、たとえそのような損害の可能性について知らされていた場合でも、お客様またはその他の者に対して責任を負いません。

## お問い合わせ

本免責事項についてご不明な点がある場合は、メール ([support@vitextra.com](mailto:support@vitextra.com)) でお問い合わせください。

# 目次

|                                                     |   |
|-----------------------------------------------------|---|
| 概要                                                  | 4 |
| クラシックの <b>RSS</b> ビューアーが行っていたこと                     | 4 |
| モダン ページに <b>RSS Web</b> パーツがない理由                    | 4 |
| 選択肢の比較                                              | 5 |
| 選択肢 <b>1.</b> リストへの <b>Power Automate</b> フロー       | 7 |
| 選択肢 <b>2.</b> サードパーティ ウィジェットを使った埋め込み <b>Web</b> パーツ | 7 |
| 選択肢 <b>3.</b> カスタム <b>SPFx Web</b> パーツ              | 8 |
| 選択肢 <b>4.</b> <b>Vitextra RSS Reader</b>            | 8 |
| どの選択肢を選ぶべきか                                         | 9 |

## 概要

「RSS Web パーツはどこにあるのか?」は、クラシックなイントラネットをモダン SharePoint Online のページに移行するチームから最初に寄せられる質問の 1 つです。クラシック ページには **RSS ビューアー** がありましたが、モダン ページには相当するものがなく、ツールボックスで **RSS** を検索しても何も見つかりません。この記事では、その理由を説明し、クラシックの **Web** パーツが何をしていたかを振り返り、モダン ページで外部フィードを表示する 4 つの実用的な方法 (Vitextra の **RSS Reader** を含む) を比較して、お客様のケースに合うものを選ぶようにします。

### メモ

Microsoft の Web パーツに関する記述は、2026 年時点の Microsoft のドキュメントと Tech Community の議論に基づいています。Microsoft はモダン ページのツールボックスを定期的に変更しているため、最新の状態については現在のドキュメントを確認してください。

## クラシックの RSS ビューアーが行っていたこと

クラシックの **RSS ビューアー Web** パーツは、フィードをサーバー上でダウンロードし、XSL テンプレートでアイテムを表示していました。クラシックの発行ページの **Enterprise** 機能セットに属し、**Web** パーツごとに 1 つのフィードを表示し、スタイルの変更は XSLT の編集でしかできませんでした。サーバーがフィードを取得するため、イントラネット内のみのフィードも動作し、ブラウザがフィードのホストに接続することはありませんでした。

このクラシック **Web** パーツは、SharePoint Online のクラシック ページには今も存在しますが、モダン ページには配置できません。また、クラシック ページは、モダン ページのようには Microsoft Teams やモバイルで表示されません。

## モダン ページに RSS Web パーツがない理由

モダン **Web** パーツは、サーバーではなく **ブラウザ内** で実行されます。SharePoint ページ上のスクリプトが別の **Web** サイトからデータをダウンロードできるのは、その **Web** サイトがクロスオリジン (CORS) ヘッダーで明示的に許可して

いる場合だけですが、フィードの発行者がそれを送信することはほとんどありません。そのため、ブラウザーのみで動作する **RSS Web** パーツは、大多数のフィードで失敗してしまいます。**Microsoft** は、サードパーティ コンテンツ用のプロキシを **SharePoint Online** に組み込まない選択をしたため、モダンのツールボックスには **RSS Web** パーツがありません。

関連しているように見える **Web** パーツは、別のことを行っています。

- ニュースは、現在のサイト、ハブ、または選択したサイトの **SharePoint** ニュース投稿を表示します。外部フィードは表示しません。
- 埋め込みは、管理者がサイト コレクションの **HTML** フィールドのセキュリティ設定で許可した **Web** サイトの **<iframe>** または埋め込みコードを挿入します。**XML** フィードを単独で表示することはできません。
- 強調表示されたコンテンツとイベントは、**SharePoint** のコンテンツをまとめて表示します。
- **SharePoint** ニュースと **Viva Engage** の投稿を集約していた **Viva Connections** のフィード **Web** パーツは、**Microsoft** によって廃止されており、**RSS** を読み取ることはありませんでした。

## 選択肢の比較

|     | リストへの<br><b>Power<br/>Automate</b> フロー                                          | サードパーティ ウィ<br>ジェットを<br>使った埋め込み <b>Web</b> パーツ                          | カスタム<br><b>SPFx Web</b><br>パーツ                                                  | <b>Vitextra RSS<br/>Reader</b>                                 |
|-----|---------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------|
| 仕組み | フローが新しいフィード アイテムを <b>SharePoint</b> リストにコピーし、リストまたはニュース <b>Web</b> パーツがリストを表示する | 外部サービスがフィードを <b>HTML</b> に変換し、埋め込み <b>Web</b> パーツが <b>iframe</b> で表示する | 自作の <b>Web</b> パーツが、自分で構築したプロキシ (たとえば <b>Azure Function</b> ) を通じてフィードをダウンロードする | <b>Web</b> パーツが <b>Vitextra</b> フィード サービスを通じてフィードをダウンロードし、表示する |

|                            | リストへの<br><b>Power<br/>Automate</b> フ<br>ロー     | サードパー<br>ティ ウィ<br>ジェットを<br>使った埋め込<br>み <b>Web</b> パー<br>ツ | カスタム<br><b>SPFx Web</b><br>パーツ | <b>Vitextra RSS<br/>Reader</b>                            |
|----------------------------|------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------|--------------------------------|-----------------------------------------------------------|
| 1 つのビュー<br>に複数の<br>フィード    | 可能、フィー<br>ドごとに 1 つ<br>のフローで同<br>じリストへ          | ウィジェット<br>による                                             | 可能、自分で<br>構築すれば                | 可能、ソース<br>タブ付き                                            |
| 最新性                        | フローの間隔<br>分の遅延 (数<br>分から数時間)                   | リアルタイム                                                    | リアルタイム                         | リアルタイ<br>ム、1 ～ 7 分<br>ごとの自動更<br>新付き                       |
| イメージ、分<br>類、検索             | リスト ビュー<br>で構築したも<br>の                         | ウィジェット<br>による。サー<br>ビスのブラン<br>ド表示が付く<br>ことが多い             | 自分で構築し<br>たもの                  | あり: イメー<br>ジ、分類タ<br>グ、検索ボッ<br>クス、3 つの<br>レイアウト            |
| 外観                         | <b>SharePoint</b> の<br>リストまたは<br>ニュースのス<br>タイル | <b>iframe</b> 内の外<br>部スタイル、<br>テーマ非対応                     | 設計どおり                          | <b>SharePoint</b> の<br>テーマ、セク<br>ション背景、<br>ダーク モード<br>に従う |
| <b>Microsoft<br/>Teams</b> | タブ内のリス<br>ト <b>Web</b> パーツ                     | タブ内の<br><b>iframe</b> 、ブ<br>ロックされる<br>ことが多い               | <b>Teams</b> 対応を<br>追加すれば      | チャンネル タブ<br>と個人用アプ<br>リ                                   |
| フィード デー<br>タの行き先           | <b>SharePoint</b> リ<br>ストへ (永続<br>的に保存)        | ウィジェット<br>プロバイダー<br>へ                                     | 自分のプロキ<br>シ経由                  | <b>Vitextra</b><br>フィード サー<br>ビス経由。何<br>も保存されな            |

|           | リストへの<br><b>Power<br/>Automate</b> フロー | サードパーティ ウィ<br>ジェットを使った埋め込み Web パーツ     | カスタム<br><b>SPFx Web</b><br>パーツ | <b>Vitextra RSS<br/>Reader</b>    |
|-----------|----------------------------------------|----------------------------------------|--------------------------------|-----------------------------------|
|           |                                        |                                        |                                | い                                 |
| セットアップの手間 | フィードごとのフロー、リスト、ビュー                     | プロバイダーのアカウント、HTML フィールドのセキュリティでドメインを許可 | 開発、ホスティング、保守                   | パッケージの展開、Web パーツの追加、フィードアドレスの入力   |
| 継続的なコスト   | <b>Power Automate</b> コネクタの制限と実行クォータ   | ウィジェットプロバイダーのサブスクリプション                 | ホスティングと開発者の工数                  | テナントごとの <b>Vitextra</b> サブスクリプション |

## 選択肢 1. リストへの Power Automate フロー

**Power Automate** には、RSS 用のトリガーフィード アイテムが発行されたときがあります。フローは、新しいフィード アイテムごとに **SharePoint** リスト アイテム (タイトル、リンク、概要、発行日) を作成し、リスト Web パーツがそのリストをページに表示します。アイテムからニュース投稿を作成するチームもあります。

この方法は、アイテムを **SharePoint** に保持したい場合 (検索可能、保持、コメント可能) や、重要なフィードが 1 ～ 2 つだけの場合に適しています。短所は、発行からフローの実行までの遅延、フィードごとに 1 つのフローが必要なこと、個人アカウントで動作するフローの保守、そして表示方法がリスト ビューに限られることです。自分で解析しない限りフィードのイメージは表示されず、ソース タブもなく、クリーンアップしなければリストは際限なく大きくなります。

## 選択肢 2. サードパーティ ウィジェットを使った埋め込み

## Web パーツ

RSS から HTML へのウィジェット ジェネレーターなどのサービスは、**埋め込み Web** パーツで表示できる埋め込みコードを生成します。結果はリアルタイムで、開発は不要ですが、フィードのコンテンツは外部企業によって **iframe** 内に表示されます。**SharePoint** のテーマには従わず、通常はプロバイダーのブランド表示が付くか、それを消すには有料プランが必要で、すべてのサイト コレクションの **HTML フィールドのセキュリティ** 設定でプロバイダーのドメインを許可する必要があります、任意のホストからの **iframe** が制限されている **Microsoft Teams** では表示されないことがよくあります。

## 選択肢 3. カスタム SPFx Web パーツ

開発者は、**SharePoint Framework** で **RSS Web** パーツを構築できます。**Web** パーツ自体は少量のコードですが、本当の作業は、**CORS** を回避するためにサーバー側でフィードをダウンロードする **プロキシ** (**Azure Function** または **Azure API Management** の **API**) に加えて、ホスティング、認証、監視、そして **SPFx** のリリースに対する **Web** パーツの互換性の維持です。フィードが社内ネットワーク内でのみ利用可能で、外部サービスを一切経由してはならない場合や、要件が標準的なニュース一覧から大きく離れている場合には、これが正しい道です。

## 選択肢 4. Vitextra RSS Reader

**RSS Reader** は、カスタムの **Web** パーツと同じアーキテクチャ (フィードはサーバー側のサービスがダウンロードし、ブラウザーで表示する) に従う、すぐに使える **SPFx Web** パーツです。開発もホスティングも必要ありません。編集者はフィードのアドレスと表示名を入力し、コンパクト、ニュースレター、カードのレイアウトを選択し、ソース タブ、分類タグ、イメージ、検索ボックスのオン/オフを切り替え、並べ替え順と更新間隔を設定します。**Web** パーツはサイトのテーマに従い、**Microsoft Teams** ではチャンネル タブおよび個人用アプリとして動作します。**API** アクセス許可は不要で、**Web** パーツ プロパティ以外には何もテナントに保存しません。



ツールボックスとページ上の RSS Reader

できないこと: 社内ネットワーク内からのみ到達できるフィードは、フィード サービスがインターネットからダウンロードするため、表示できません。また、アイテムは **SharePoint** に保存されません。アイテムのアーカイブが必要な場合は、**Web** パーツと **Power Automate** フローを組み合わせてください。

## ヒント

セットアップは数分で完了します。 [KB10367. RSS Reader Web パーツ](#)を追加して構成する方法を参照してください。 **14** 日間の無料試用期間中は、すべての機能を利用できます。

## どの選択肢を選ぶべきか

- フィード アイテムを **SharePoint** でアーカイブし、検索可能にする必要がある → リストへの **Power Automate** フロー。
- フィードが社内専用である、またはコンプライアンス上、外部サービスの利用が一切禁止されている → 独自のプロキシを備えたカスタム **SPFx Web** パーツ。
- ページと **Teams** に、フィルターと自動更新を備えたテーマに従う複数フィードのニュース ブロックを素早く配置したい → **Vitextra RSS Reader**。
- **1** つのフィードを **1** つのページに短期間だけ表示する必要があり、外部のブランド表示を気にしない → ウィジェットを使った埋め込み **Web** パーツ。